

新型コロナウイルスによる子どもの生活と遊び状況を調査

～休校・休園や外出自粛は子どもの生活と外遊びにどう影響するか～

【概要】

北海道大学大学院農学研究院の愛甲哲也准教授らこども環境学会・こども環境研究会北海道の有志は新型コロナウイルスの影響で休校・休園や外出自粛になっている幼児～中学生の生活状況、外遊びの実態を調査しています。

3月19日（木）から4月1日（水）までの調査をまとめましたので、中間報告として別紙のとおりお知らせいたします。外出自粛の影響により、室内でのテレビやゲームが増加し、外遊び、友達との交流が減少し、外出や遊び場所に保護者が戸惑っていることがわかりました。一方で、規則正しい生活や健康維持に保護者が様々な工夫をしています。

北海道外では休校・休園が延長されていることから、調査期間を4月30日（木）まで延長し、特に北海道以外の保護者の回答も呼びかけて、地域や休校・休園措置の違いなどにも着目して分析する予定です。

回答サイトURL：<https://arcg.is/0fuSOv>

【調査開始に至った経緯】

北海道では全国に先駆けて外出自粛要請や学校の休校の措置がとられました。休校・休園中に、幼児・小中学生はどのように過ごし、各家庭はどのような課題を抱えているのか。子どもの発達に欠かせないと言われる外遊びについて、関係者はどのように取り組むべきかという知見を得るために、愛甲准教授らで調査の実施を企画しました。

【内容・対象・意義】

本調査は、休校・休園などの実態、子どもたちの居場所、勉強や習い事、遊び、テレビやゲームなどの時間の増減、外遊びの場所、各家庭での困りごとや工夫について保護者にWebで回答していただいたものです。

その結果、自宅で過ごす時間が増え、テレビやビデオ、インターネット、ゲームの時間が増えています。屋内での遊びに対して、外遊びや友達と会う機会も減少し、体力や健康の維持、精神衛生への影響も少なくないでしょう。多くの保護者は、子供にとって外遊びを必要なものと認識し、近所の公園や散歩、自宅の庭などへの外出や遊びを、戸惑いながら行っています。外出する際の留意事項、近所で安心して遊べる公園はどこにあるかなど、保護者への適切な情報提供や各家庭での工夫を明らかにすることは、今後の休園・休校、外出自粛が続く地域及び災害の発生時などに有用な知見となるでしょう。

お問い合わせ先

北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲哲也（あいこうてつや）

T E L 011-706-2452 F A X 011-706-2452 メール tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

U R L <http://lab.agr.hokudai.ac.jp/hsla/aikoh/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimuhokudai.ac.jp

令和2年4月6日

「新型コロナウイルスの影響による子どもの生活と遊び状況調査」中間報告（短縮版）

北海道大学大学院農学研究院・准教授 愛甲哲也

新型コロナウイルスの影響で休校・休園や外出自粛になっている幼児～中学生の生活状況，特に外遊びの実態と課題を調査しています。子どもの生活環境や遊び空間の改善に生かす知見を得るため，こども環境学会・こども環境研究会北海道の有志で，3月19日（木）に開始しました。

これまで北海道を中心にいただいた923人の回答について，主な内容を中間報告し，各家庭での子どもの過ごし方の現状や課題，工夫などについて共有いたします。

協力が広がっていることや北海道外では休校・休園が延長されていることから，調査期間を当初予定より延長いたします。特に，北海道以外の方からもご回答をよろしくお願いいたします。引き続き，ご協力いただけますと幸いです。



回答サイトURL：<https://arcg.is/0fuSOv>

中間報告対象期間：3月19日（木）16時～4月1日（水）24時

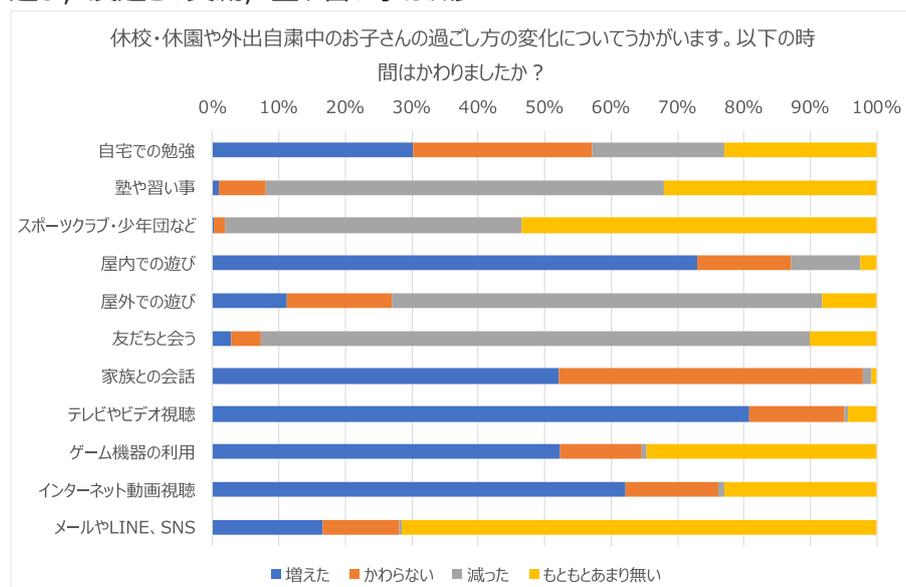
回答数：923人（北海道838人，北海道外85人）

分析：北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也

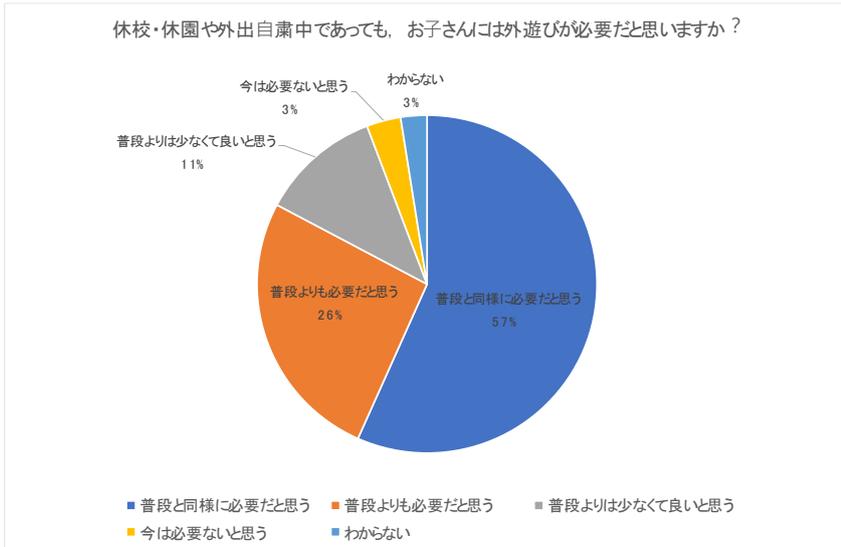
連絡先：電話011-706-2452，メール：tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

※自由回答項目のテキスト分析は，ユーザーローカル テキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）を使用しました。

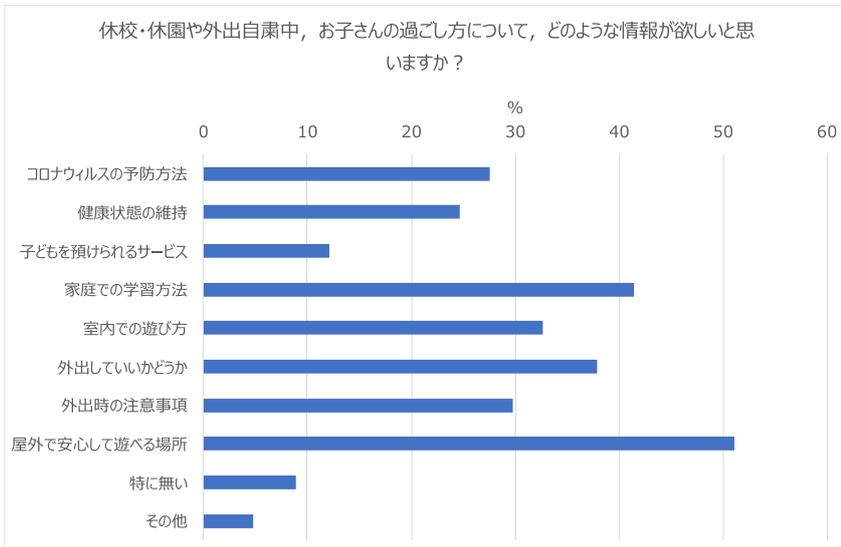
・休校・休園や外出自粛で，屋内遊び，テレビやビデオ，インターネット動画，ゲーム，家族との会話が増え，屋外遊び，友達との交流，塾や習い事は減少



・8割以上の保護者が、子どもには外遊びが必要と回答



・保護者は、屋外で安心して遊ばせる場所、学習方法、外出に関する情報が不足

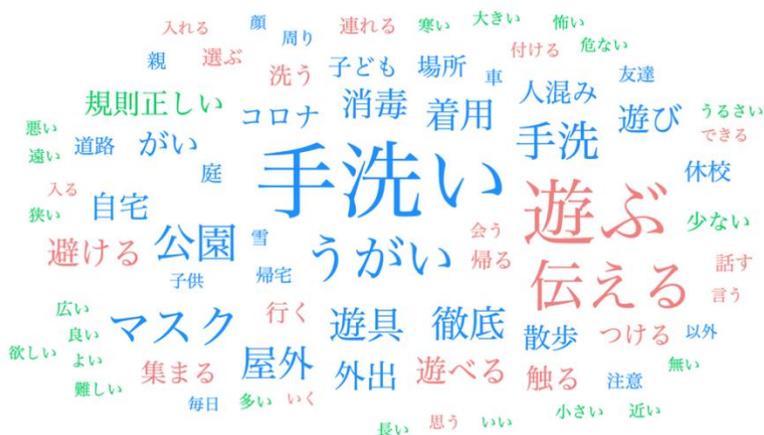


・屋外での遊びについて、困っていること、悩んでいること

回答の例：

- 手洗いうがいするだけで本当によいのかと不安
- ついてあげられない時は外遊びができない
- 友達がいないので長時間外で遊んでられない
- 人数が多いと気になり外へ行かせられない
- 公園などで遊ばせてもいいのかわからない
- 外に連れ出した時の周囲の視線が気になる

・屋外での遊びについて、気をつけていることやお子さんに伝えていること



・お子さんの自宅での過ごし方について、工夫されていること



青字：名詞，赤字：動詞，緑字：形容詞

中間まとめ

新型コロナウイルスの影響は、医療や産業のみではなく、保育園、幼稚園、学校の休みにより、子どもたちの過ごし方にも大きな影響を及ぼしています。

自宅で過ごす時間が増えたことによって、テレビやビデオ、インターネット、ゲームの時間が増えています。屋内での遊びに対して、外遊びや友達と会う機会も減少し、体力や健康の維持、精神衛生への影響も少なくないでしょう。その一方で、家族との会話は増えていて、各家庭で様々な工夫が行われていることをうかがわせます。

多くの保護者は、子供にとって外遊びを必要なものと認識し、近所の公園や散歩、自宅の庭などへの外出や遊びを、戸惑いながら行っています。外出する際の留意事項、近所で安心して遊べる公園はどこにあるかなど、市区町村や公園管理者から保護者への適切な情報提供が求められています。規則正しい生活、適度な運動や外出、外出後の手洗いなど、各家庭での取り組みや工夫は、今後も休園・休校、外出自粛が続く地域には有用でしょう。